

## かけがわっ子ひろば 今後の見通し

昨年秋に策定されたアクションプランでは子育て環境の充実が大きな課題となっており、市が実施している瀬戸っ子モアスクールを掛川地区で開設することについて市へ働きかけてきましたが、現状では無理とのことでした。

このため、本年4月から保護者が中心となって学童保育所的な「かけがわっ子ひろば」を開設・運営していますが、両町の町民会館まで児童を送り届けなければならないことや保護者負担等の問題もあり、今のままでは長期的に運営を続けることに不安感があります。

このことについて市と話し合いをする中で、「地域力向上協働事業制度」による市の委託事業として実施する方法があることがわかってきました。「かけがわっ子ひろば」が市の委託事業として認められれば、掛川地区が一番乗りのケースとして誕生することとなります。

そこで、子育て支援グループが中心となって掛川方式の放課後学級実現に向け「かけがわっ子ひろば運営企画書」を作成し、6月24日（水）、会長以下8名が市役所へ出向いてこの企画書をもとに担当者として面談しました。市側からは地域活動支援室長、子ども家庭課課長補佐をはじめ4名の担当者が一堂に会して対応してもらいました。

この事業は掛川地域力向上委員会が市から委託を受けて運営するもので、今後は市との調整を重ねながら具体化を図っていくこととなります。



市との面談（瀬戸市役所にて）

### 各グループ 今後の予定

#### 子育て支援グループ

- ・夏休み中の「かけがわっ子ひろば」ボランティア募集
- ・放課後学級開設に向けての市との調整

#### 高齢者支援グループ

- ・お助け内容のアンケートをとる。
- ・お助け隊員募集

#### コミュニティーグループ

- ・掛川マップ作りにとりかかる。
- ・元NHKアナウンサー村上信夫講演会の準備

#### 防災グループ

- ・防災組織図の住民への周知
- ・防災連絡網作成
- ・災害弱者名簿作成

## 学習田で田植えサポート



田植え前の説明を聞く 低学年



一列になって田植え 中・高学年

5月27日（水）、掛川小学校の学習田で田植えがありました。子育て支援活動の一環として地域の大勢の皆さんが田植えの仕方を子どもたちに教えるなどのお手伝いをしました。高学年の児童は何回も経験しているせいか手慣れた手つきで田植えをしていました。好天の中、保護者の参加もあり掛川ならではの体験学習となりました。

採れた米は秋の収穫祭で餅つきに使われる予定です。

## 学校の環境整備作業



運動場周辺の草刈り

6月7日（日）、小学校の廃品回収が終わった後、環境整備作業があり校内やその周辺の草刈り作業が行われました。

地域力向上委員会のメンバーとPTAが協力して作業にあたりました。



地域・親子・学校職員一体となった環境整備作業

## 第1回 地域のゴミ拾いをしました

5月30日（土）今年度第一回目のゴミ拾いが両町で行われました。相変わらず大量のポイ捨てゴミのほか、自転車などの粗大ゴミも回収されました。

両町で61名の参加協力がありました。



ポイ捨てのゴミ拾い 国道248号



回収されたゴミの山

## 定光寺町のモリコロ花壇枠を取り替えました

老朽化していた定光寺町のモリコロ花壇枠の取替え作業が5月30日（土）、ゴミ拾い作業の後に行われました。

かねてより定光寺町の個人山から提供いただいていた檜を使って町内三か所のモリコロ花壇枠を交換しました。

下半田川町のモリコロ花壇はすでに昨年コンクリートのテストピースで補修済みです。



檜の切り出し



伐採した檜の裁断



檜の皮むき



完成した花壇枠 町民会館前



枠組み ゴルフ場入り口

## 花の植え込み作業

6月13日（土）、両町のモリコロ花壇で花苗の植えつけが行われました。  
定光寺町では整備されたばかりの新しい花壇枠の中で花がいっそう引き立って見えるようになりました。また、下半田川町では花川橋の花壇が1か所増えたことにより町内にビューポイントが広がりました。  
今回、散水用貯水桶（45ℓ）が配置され、水やり作業が今までより楽になりました。



花川橋の花壇 下半田川町



ゴルフ場入り口の花壇 定光寺町



天神橋の花壇 下半田川町



町民会館前の花壇と貯水桶 定光寺町

### 見守り活動

## 女性用の帽子を作りました

見守り活動で着用する帽子は今まで男女とも同じものを使ってきましたが、以前から「女性用の帽子があるといいね」との声があり、新たに女性用の帽子を作りました。

ベージュ色で、日焼け防止のためのつばの広いデザインは皆さんから好評を得ています。

児童の見守り活動に携わっていただいている方に配付しました。





# つん張り校舎から木造二階建て校舎へ

6回にわたり連載してきた掛川小学校シリーズは前号で一応完結としましたが、昭和30年以降の掛川小学校についてはこれまでまだ一度も触れていませんでした。また、掛川小学校創設以来現在にいたるまでの学校の沿革を総集編としてとりあげたいということもあり、もうしばらく連載を続けることにいたしました。

大正2年から続いた地域の象徴ともいえる「つん張り学校」は昭和30年3月で42年間の幕を閉じることとなりました。老朽化が進んだ校舎を建て直すことになり、とりあえず中央部二階建て木造校舎の西側半分が昭和30年5月19日に完成しました。

つん張り校舎から木造二階建て校舎への改築は二段階に分けて行われました。

## 新旧繋ぎ合わせの校舎

第一期工事完了後2年目 (S32.4)



入学式の日の校門付近



校庭での新学期始業式

第一期改築時は寄棟造りのつん張り校舎の東半分を残し西側のみ新築したので新旧繋ぎ合わせの状態となりこれが5年間続きました。旧校舎内にあった2教室は従来通り必要に応じて間仕切りをとり、講堂として使っていました。

第一期工事期間中、同じ敷地に新しく校舎を建てるため、まず校舎の西半分を取り壊しました。つん張り校舎東側部分に2教室、離れのトタン屋根の教室1教室、あわせて3教室だけが残りました。全校児童が授業を受けるには当然教室が足りません。考え出されたのが低学年・高学年を午前と午後に分けた二部制の授業でした。

学校沿革史によると昭和29年12月13日に二部制授業を開始し、同時に校舎西半分の解体作業を始めたとあります。

二部制授業を廃止し新校舎での授業が開始されたのは5月25日でした。第一期工事で作った教室は4教室のみだったのでつん張り校舎部分の2教室は依然として古いままで使い続けたのです。

昭和33年6月6日には本館の西側に新しく給食室ができました。

第二期工事で旧校舎部分を取り壊し全面改築が完了したのは昭和35年8月30日でした。完成した切妻屋根の新校舎は真ん中が一部二階建てで当時としてはモダンな造りでした。この木造校舎(写真下)は現在の鉄筋校舎に新築されるまで28年間にわたって使用されました。



全面改築が済んだ中央部2階建て木造校舎 (S.35.8.30)

写真上  
写真下  
新校舎玄関の左手にはつん張り校舎の左手にわずかに新校舎部分が見えている。

会員の声

## 元気の源 登下校風景

文 水野啓太 挿し絵 水野 武

定光寺町の水野啓太さんから小学生時代の登下校の思い出を寄稿していただきました。

また寄稿文の挿し絵は弟の武さんにお願いました。兄弟そろってのご協力ありがとうございました。

私は5歳の時に父親の故郷である定光寺町に移り住みました。途中20歳～30代前半の間一時期離れましたが、それ以降今日にいたるまで定光寺町に住み、日頃から地域の方々には大変お世話になっております。

さて、時々見かける児童の登下校風景ですが、それを眺めるたびに「いい風景だなあ」と感じながら元気をもらっています。

子どもたちが安心して通学できるのも地域の見守り隊の方々のお力や定光寺・下半田川両町の素晴らしい環境があってこそではないでしょうか。

私が小学生のころは、まだ歩道がなく雨天時以外は東島の渡辺さん宅前から竹やぶのトンネルに入り、山道を通って登下校していました。当時は東、中、西と3つの通学班に別れていて私は定光寺東班でした。

登校時は通学班でまとまって学校まで行きますが、下校時は通学班でまとまって帰るのは学校を出てから200m位までで、その後は真っ直ぐ帰宅する子と道草をくいながら帰宅する子と2グループに分かれてしまいます(笑)。

道草組は山の中や川、田んぼで遊びながら帰るので普通なら家から20分くらいの道のりを1時間もかけて下校するといったことも度々でした。

木造校舎から現在の鉄筋校舎にかわった5年生のころになると徐々に歩道も整備され、子ども心にも「ずいぶんと街みたいになったもんだなあ」と思ったものです。山道から歩道通学にかわると、ガキンチョたちのお家芸であった道草も次第に陰をひそめていきました。

形は変わろうとも地域の美しい自然に溶け込んだ登下校風景は心の癒しとなります。ほのぼのとした子どもたちの姿がいつまでも見られることを願っています。



### コンサートのご案内 「同じ時代 この星に生まれて」

「8月15日を忘れない」をテーマに村上信夫さんの司会進行で白樺八青さんら9名が出演します。

と き 2015年8月15日(土) 午後2時開演(開場1時30分)

ところ 愛知芸術文化センター 大リハーサル室

入場料 一般2,000円、小中高校生1,000円(当日券それぞれ500円増し)

村上信夫さんは、来る11月7日(土)掛川小学校体育館における講演会の講師として招くことになっている元NHKエグゼクティブアナウンサー、白樺八青さんは掛川小学校の歌「山渡る風」を作詞されるなど、お二人とも掛川地区に縁のある方々です。

問い合わせは 掛川地域力向上委員会 副会長 川井信一(☎48-5482) まで